

程よい距離感で気がねなく、
子世帯・親世帯の新しい住まい方

近居でハッピーに暮らそう!

同居でもなく、隣居でもない。電車や車などで1時間以内、つかず離れずのファミリーディスタンスをとる「近居」という住まい方が注目されています。
子育てや介護に直面してあたふたする前に、計画的に住まい方を考えてみませんか。

子世帯から見たメリット

merit 1 「今日は子供を“ばあば”に預けて出かけよう」
共働きも、ワンオペ育児にもありがたい

保育所のお迎えを頼んだり、残業があるときには預かってもらったり。夫婦で出かけるときにも子供の世話をお願いできます。

merit 2 「いつものおはようコールがないんだけど…」
親孝行も、安否確認もできて安心

何かあってもすぐに駆けつけられるし、親の介護や身の回りの世話もしやすい。いつでも行けるというのが気持ち的に安心です。

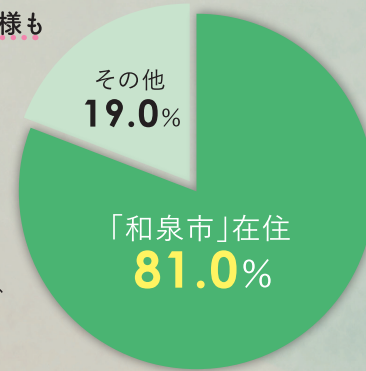
merit 3 「コストコで買い込んでシェアしようよ」
経済的、時間的にも助けてもらえる

食料品や日用品をシェアしたり、体調がすぐれない時に家事を頼んだり。お金も時間もサポートしてもらえるのは近居ならではのメリットです。

速報! 「メイツ和泉中央ザ・マークス」のご成約者様も
約8割が「近居」

南大阪エリア成約戸数No.1の「メイツ和泉中央ザ・マークス」。ご成約者様のうち和泉市が実家という方が約81%というデータが出ています。子世帯・親世帯それぞれのメリットを活かしながら、「近居」をはじめの方が多ようです。

※掲載のアンケートは2023年7月～2024年2月に実施したものです。



親世帯から見たメリット

merit 1 「誕生日には何をプレゼントしようかな…」
孫とすぐに会える、成長を近くで見守れる

ふだんの買物やお出かけ、誕生日や入学式など孫の成長をずっと見守れるのはうれしい。つついとお財布の紐もゆるんでしまいます。

merit 2 「ちょっと熱っぽんだけど来てくれる?」
急病や緊急事態にも頼りになる

外に出られない時に必要なものを買ってきてもらえるなど、他人には頼みにくいことも家族なら助け合える。困ったときはお互い様です。

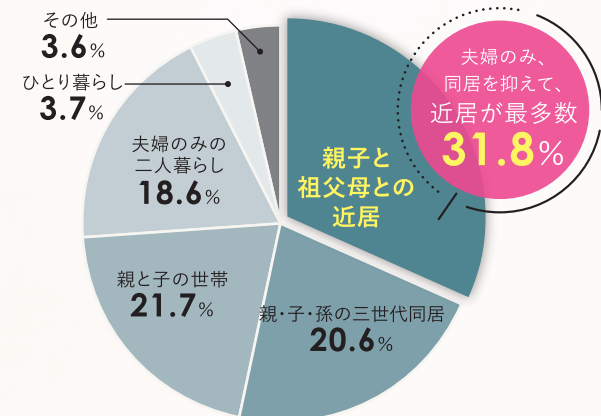
merit 3 「今日はうちにご飯食べにくる?」
ちょうどいい距離感でいい関係

いくら仲が良くても同居はやっぱ不満がたまります。スープの冷めない程よい距離感を保つことで、いつまでもいい関係が保てます。



3人に1人が「近居」を希望!

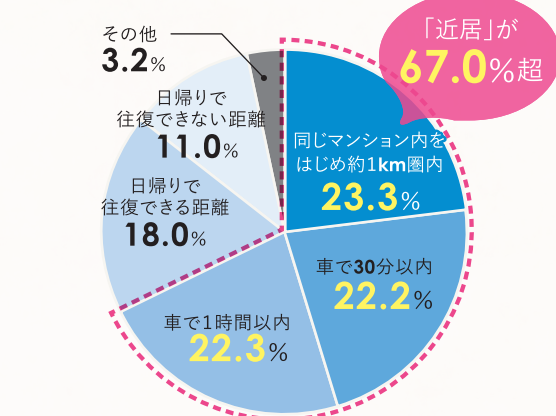
内閣府の調査によると理想の住まい方は「親子と祖父母との近居」が3割超に。全国的にみても家族との理想の住まい方は「近居」といえます。



※出典:内閣府「家族と地域における子育てに関する意識調査」報告書より「理想の家族の住まい方」(平成25年度)

近畿圏でも「近居」が67%超!

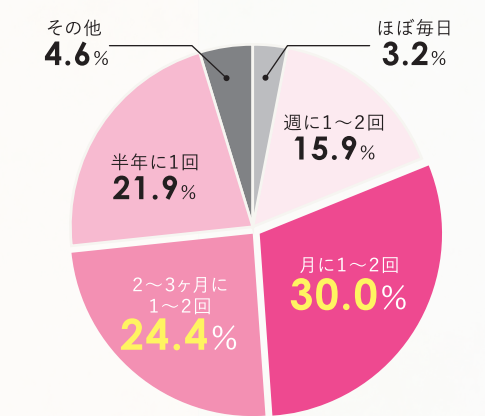
子世帯・親世帯にそれぞれ理想的な距離感を聞くと、同一マンション内、車で30分以内、車で1時間以内がほぼ同率。67%超が「近居」を希望しています。



※長谷工アーベスト調べ(2019年9月26日～10月3日実施)対象者/近畿圏モニター65歳以上
○分析対象件数/508件)

ベタベタしない関係の「近居」!

「近居」しても子世帯・親世帯が会う頻度は月に1～2回が約30%。2～2ヶ月に2～2回が約24%。さほど煩わしさはなさそうです。



※長谷工アーベスト調べ(2019年9月26日～10月3日実施)対象者/近畿圏モニター65歳以上
○分析対象件数/508件)

すぐに会いに行ける安心感。「近居」のパターンもさまざまです。

子世帯・親世帯がそれぞれ、どこで、どのように暮らしているかで「近居」のパターンも変わってきます。いずれにしても駅近で生活利便性の高いマンションなら、今も、近い将来も快適に暮らせます。

